

大和郡山市一般会計等財務書類(貸借対照表)を公表します

貸借対照表とは、市が保有している財産(資産)と、その資産をどのような財源(負債・純資産)で賄ってきたかを表しています。

(単位：千円)

【資産の部】 ～大和郡山市の全資産～		【負債の部】 ～将来世代が負担する部分～	
1. 固定資産	90,594,329	1. 固定負債	39,475,851
(1) 有形固定資産	85,243,834	(1) 地方債	35,281,639
(2) 無形固定資産	6,402	(2) 退職手当引当金	4,167,016
(3) 投資その他の資産	5,344,093	(3) その他	27,196
・投資及び出資金	2,043,791	2. 流動負債	5,425,427
・長期延滞債権	1,145,560	(1) 1年以内償還予定地方債	4,159,347
・基金	1,953,751	(2) 賞与等引当金	319,177
・その他	200,991	(3) その他	946,903
2. 流動資産	4,758,452	負債合計	44,901,278
(1) 現金預金	1,432,087	【純資産の部】 ～現在までの世代が負担した部分～	
(2) 基金	3,153,457	固定資産等形成分	93,771,857
(3) その他	172,908	余剰分(不足分)	△ 43,320,355
		純資産合計	50,451,502
資産合計	95,352,780	負債及び純資産合計	95,352,780

※千円未満を四捨五入して表示しているため、合計金額が一致しない場合があります。

これまで市では総務省方式改訂モデルにより財務書類(貸借対照表・行政コスト計算書・資金収支計算書・純資産変動計算書)を作成してきましたが、平成26年4月に「今後の地方公会計の推進に関する研究会」より固定資産台帳の整備と複式簿記の導入を前提とした財務書類の作成に関する「統一的な規準」が示されました。そのため、市では、平成29年度決算より、「統一的な基準」により財務書類を作成しております。上記表では、その一部である一般会計等財務書類(貸借対照表)の概略を掲載しました。

なお、市のホームページで、一般会計等財務書類、全体財務書類及び連結財務書類を公開しています。

〈用語の説明〉

- ・有形固定資産：学校等の事業用資産、道路等のインフラ資産、50万円以上の物品等
- ・無形固定資産：ソフトウェア等の資産
- ・投資及び出資金：債券及び株式並びに関係団体への出資金
- ・長期延滞債権：地方税等の未収金のうち、1年を超えて回収されていない物
- ・流動資産：現金、必要に応じてすぐ使える基金等
- ・地方債：資金調達のための借入で、債務の履行が一会計年度を超えるもの
- ・退職給与引当金：全職員が年度末に退職したと仮定した場合の退職手当見込み額
- ・1年内償還予定地方債：地方債のうち翌年度償還予定額
- ・純資産：資産形成に充てられた、返済の必要ない財源

平成31年度 工業統計調査を実施します (経済産業省からのお知らせ)

工業統計調査は我が国の工業の実態を明らかにすることを目的とした統計法に基づく報告義務がある重要な統計です。

調査時点は6月1日(土)です。調査票へのご回答をお願いいたします。

問合せ＝地域振興課(内線564・565)

市税・国民健康保険税 納付の夜間窓口を開設します

日時＝5月13日(月)・14日(火)・16日(木)・17日(金)
17時15分～20時

※裏玄関を利用してください。

場所・問合せ＝税務課(108番窓口、内線273～276)・
保険年金課(103番窓口、内線321・324・329)